

**輝く“ふくろい”
まち・ひと・しごと創生総合戦略**

平成 27 年 10 月

袋井市

目次

第1章 基本的な考え方	1
1 趣旨（背景）	2
2 基本方針	2
3 総合戦略の位置づけ	4
4 対象期間	4
5 基本目標	5
6 推進体制等	5
7 まち・ひと・しごと創生戦略の体系図	6
第2章 3つの挑戦「政策パッケージ」	8
挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦	
挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦	
挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦	
第3章 戦略を支える取組	20

第 1 章 基本的な考え方

第1章 基本的な考え方

1 趣旨（背景）

急速に進む少子高齢化を背景に、我が国は本格的な「人口減少時代」に突入している。これに加え、地方に比べて合計特殊出生率が低い東京への「人口一極集中」が、日本全体としての人口減少に拍車をかけています。

本市では、平成20年頃まで人口は増加していましたが、平成20年のリーマンショック以降、人口の伸びは横ばいが続き、平成27年4月1日時点では87,155人となっています。

人口減少局面には立ち入っていないものの、現状のままの傾向で推移するとした試算では、2060年には67,900人まで人口が減少することが見込まれています。

人口減少は、消費市場の規模縮小だけではなく、人材の不足による産業力や経済成長の低下、農業や中小企業の後継者不足といった産業全体の活力の低下を招きかねません。さらには、労働人口の減少に伴い税収が減少し、税収に占める社会保障費や公共施設やインフラの維持管理費が増加するなど本市のまちづくりにも多大な影響を及ぼすことが想定されます。

この戦略は、このような背景のなか、第2次袋井市総合計画（H28-H37）の策定とあわせ、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「対応戦略」を定めたものです。

2 基本方針

国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方（※1）や政策5原則（※2）を踏まえ、本市における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指し、諸施策を強力に推進・展開します。

なお、施策の実施にあたっては、国や県、近隣自治体のほか、市民や企業とも積極的に連携し取り組みます。

■「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方（※1）

（1）人口減少と地域経済縮小の克服

- 地方は、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高い。
- 人口減少克服・地方創生のためには、3つの基本的視点から取り組むことが重要。

- ①「東京一極集中」の是正
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

（2）まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

①しごとの創生

- ・若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した取組が重要。

②ひとの創生

- ・地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すとともに、地方への移住・定着を促進する。
- ・安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援を実現する。

③まちの創生

- ・地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏等の各地域の特性に即して課題を解決する。

■「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策5原則（※2）

①自立性

- ・構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。

②将来性

- ・地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。

③地域性

- ・各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。

④直接性

- ・最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。

⑤結果重視

- ・PDCA メカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

3 総合戦略の位置づけ

平成 27 年 9 月に策定した第 2 次袋井市総合計画（H28-H37）では、基本目標を「子育てするなら袋井市」、「定住するなら袋井市」、「市民力なら袋井市」の 3 つを掲げています。

この総合戦略は、本市の人口ビジョンに掲げる「目指すべき将来の方向」や「将来目標人口」のほか、総合計画の実現を加速させるため、政策パッケージを中心に今後 5 年間に集中して取り組む施策を取りまとめたものです。

4 対象期間

総合戦略の対象期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。

5 基本目標

総合戦略では、国の示す政策4分野ごとに5年後の基本目標を設定します。その際、基本目標には、実現すべき成果に係る数値目標を設定します。

国の政策分野①

地方における安定した雇用を創出する

基本目標 1 活力みなぎる産業のあるまちづくり

国の政策分野②

地方への新しい人の流れをつくる

基本目標 2 快適で魅力にあふれ、安全・安心に暮らせるまちづくり

国の政策分野③

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標 3 子どもがすこやかに育つまちづくり

国の政策分野④

時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

基本目標 4 市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

また、基本目標の早期実現を目指し、3つの戦略（政策パッケージ）を挑戦します。

挑戦 1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

挑戦 2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

挑戦 3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

6 推進体制等

本市では、これまで総合計画に基づき実施してきた施策・事業について行政評価を実施し、施策の効果検証や進行管理を行い、その結果を踏まえて、次年度の施策や予算案の策定を行うPDCAサイクルを実践しています。

本戦略の推進にあたっては、総合計画の評価と併せ、施策の進捗や効果等について評価を徹底し、「輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議」を中心に幅広い方々からの意見を伺いながら、PDCAサイクルによる継続的な改善を図ることにより、地方創生の実現に向けて常に戦略の進化を追及していきます。

政策パッケージ（3つの挑戦）

若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

人を惹きつける地域資源を活用し、若者が魅力を感じ、集い、住みたい、住み続けたいなど、若い世代を呼び込めるまちづくりに挑む。

戦略の柱・施策の方向性	重要業績評価指標(KPI)
1-1 ICT教育環境の充実	各取組指標 P10～14 参照
1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成	
1-3 静岡理工科大学との連携強化	
1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化	
1-5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり	
1-6 シティプロモーションの充実・強化	

ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

市民の生活に潤いと安らぎを与える「袋井らしさ」を追求し、地域資源とICTの結合などにより、地域経済を支える産業の生産性の向上と活性化に挑む。

戦略の柱・施策の方向性	重要業績評価指標(KPI)
2-1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト	各取組指標 P15～17 参照
2-1 農業の未来を創るプロジェクト	
2-3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立	

健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

いつまでも光り輝き社会を支える人(アクティブ・シニア)づくりと将来にわたって、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築とあわせ、医療費の適正化に挑む。

戦略の柱・施策の方向性	重要業績評価指標(KPI)
3-1 プラチナ社会の実現への取組	各取組指標 P18～19 参照
3-2 セルフメディケーションの推進	
3-3 歩いて楽しいまちづくり	
3-4 自転車を活かしたまちづくり	

国の政策分野と基本目標	主な施策群	第2次総合計画との関連性
<p>国の政策分野① 地方における安定した雇用を創出</p> <p>活力みなぎる 産業のあるまちづくり</p> <p>《数値目標》 P21 参照</p>	<p>産業の新たな展開の推進</p> <p>戦略的な観光の推進</p> <p>経営力の高い農業の振興</p> <p>魅力的な商業の振興</p> <p>雇用環境の充実</p>	<p>政策 4</p>
<p>国の政策分野② 地方に新しい人の流れをつくる</p> <p>快適で魅力にあふれ 安全・安心に暮らせる まちづくり</p> <p>《数値目標》 P21～23 参照</p>	<p>暮らしたくなる都市拠点の創出 誰もが移動しやすいまちづくり 花と緑と水のまちづくり 恵みある河川・海岸づくり 豊かな環境の醸成と継承 生活を豊かにする I C T 環境の構築</p> <hr/> <p>地震災害に強いまちづくりの推進 治水・治山対策の推進 交通安全・防犯対策の推進 消防・救急救助体制の充実 安全な水の安定供給</p>	<p>政策 3</p> <p>政策 5</p>
<p>国の政策分野③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>子どもがすこやかに育つ まちづくり</p> <p>《数値目標》 P23 参照</p>	<p>市民総参加で子育て環境の充実</p> <p>未来に輝く若者の育成</p> <p>教養ゆたかな人づくり</p>	<p>政策 1</p>
<p>国の政策分野④ 時代に合った地域をつくり、安全なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する</p> <p>市民がいきいきと活躍し、 健康長寿で暮らしを楽しむ まちづくり</p> <p>《数値目標》 P23～24 参照</p>	<p>生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進 いきいきと暮らせる健康長寿の推進 安心できる地域医療の充実 自分らしく暮らせる障がい者支援の推進 親しみやすい市民スポーツの推進</p> <hr/> <p>市民と行政の協働によるまちづくり 多様な文化の創造 共生社会の確立</p>	<p>政策 2</p> <p>政策 6</p>

第2章 3つの挑戦 「政策パッケージ」

第2章 3つの挑戦「政策パッケージ」

人口減少を抑制していくため、戦略的かつ迅速に実施するため分野横断的に取り組む政策パッケージを設定し、3つの挑戦に挑みます。

挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

人を惹きつける地域資源を活用し、若者が魅力を感じ、集い、住みたい、住み続けたいなど、若い世代を呼び込めるまちづくりに挑む。

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

市民の生活に潤いと安らぎを与える「袋井らしさ」を追求し、地域資源とICTの結合などにより、地域経済を支える産業の生産性の向上と活性化に挑む。

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

いつまでも光り輝き社会を支える人(アクティブ・シニア)づくりと将来にわたって、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築とあわせ、医療費の適正化に挑む。

表 3つの挑戦と関連する基本目標との対応

3つの挑戦	重点戦略	基本目標			
		活 力 み な ぎ る 産 業 の あ る ま ち づ く り	快 適 で 魅 力 に あ ふ れ 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ く り	子 ど も が す こ や か に 育 つ ま ち づ く り	市 民 が い き い き と 活 躍 し 、 健 康 長 寿 で 、 暮 ら し を 楽 し む ま ち づ く り
挑戦1 若者が魅力を感じる まちづくりへの挑戦	ICT教育環境の充実			○	
	未来を拓く「遠州商人」の育成	○			
	静岡理工科大学との連携強化	○			
	内陸フロンティアを拓く取組の進化	○	○		
	安心して子どもを産み育てられる環境づくり			○	
シティプロモーションの充実・強化	○	○	○	○	
挑戦2 ふくろい「場のチカラ」 を向上させる挑戦	遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト	○			
	農地の未来を創るプロジェクト	○			
	世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立	○			
挑戦3 健康づくりをリードする 袋井の新たな挑戦	プラチナ社会の実現への取組				○
	セルフメディケーションの推進				○
	歩いて楽しいまちづくり				○
	自転車を活かしたまちづくり				○

挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

人を惹きつける地域資源を活用し、若者が魅力を感じ、集い、住みたい、住み続けたいなど、若い世代を呼び込めるまちづくりに挑む。

戦略の柱・施策の方向	重要業績評価指標 KPI（平成31年度）
<p>1-1 ICT 教育環境の充実</p> <p>子どもたちの自ら学ぶ力を養い、教職員の子どもとふれあう時間を確保することで、学力の向上に資すると共に、心ゆたかで個性と創造性に富み、21世紀を生き抜く力を持った子どもを育成するため、ICT教育環境の充実を図る。</p> <p>■わかりやすい授業の実践 授業におけるユニバーサルデザインを推進し、児童生徒の学習意欲と「確かな学力」を向上させる。</p> <p>【具体的な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教材を駆使したわかりやすい授業の開発・実践 ○電子黒板機能付きプロジェクター等の整備 ○タブレット端末の導入（一人1台） ○無線LAN環境の整備 ○指導者用タブレットの導入 <p>■校務の合理化・効率化の推進 児童生徒と触れあいや教材研究の充実を図るため、多様化している校務の合理化と効率化を推進する。</p> <p>【具体的な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校務環境の充実・強化（校務支援ソフトの導入） ○クラウド型学校間ネットワークシステムの導入 	<p>○授業がよく分かったと答える児童の割合 [現状値] — [目標値] 90%</p> <p>○全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合（小6） [現状値] 50% [目標値] 100% <small>（参考指標）第2次総合計画</small></p>
<p>1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成</p> <p>将来の地域産業や経済を担う人材を育成するため、より実践的な職業教育を行う新たな高等教育のあり方として、中学卒業後の5年一貫教育を推奨し、タフでグローバルな感覚を持った起業人の育成など郷土を愛する遠州商人を創出させる。</p> <p>■袋井商業高等学校5年制化の推進 「袋井商業高等学校の5年制化」を提唱し、全国で初となる公立商業高校の高等専門学校の新設を含め、その実現に向けた働きかけを行う。</p> <p>【具体的な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シンポジウムの開催（地域全体の機運の醸成） ○推進組織の構築 	<p>○袋井商業高等学校の5年制化の実現</p>

1-3 静岡理科大学との連携強化

地域や企業との連携を強化し、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

また、地域との交流や地域課題への取組を通じて、地域への愛着を育む。

■新しい事業の創出支援

静岡理科大学と市内企業との交流を深め、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を積極的に支援する。

【具体的な施策】

- 産学交流研究開発事業助成金の活用
- 静岡理科大学技術研究会への支援
- 産学連携コーディネーター（仮称）の設置
- 新事業展開促進補助金（仮称）の創設

■地域課題解決型“地（知）の拠点事業”の推進

大学を地域における知的拠点と捉え、地域の課題解決に向けた連携をさらに強化し、学内の知的資源をフル活用する。

小・中学生や高校生など未来を担う若者を中心に、大学が持つ専門的かつ高度な教育などを活用した多面的な学習機会を創出させる。また、在学中に地元の人と交流や地域を学ぶ機会を創出し、学生の意見をまちづくりに反映させることで地域への愛着を育み、卒業後の地元定着率の向上を図る。

【具体的な施策】

- 「地域学」講座の開催
- 「お理工塾」の開催（学生主催の出張型理系講座）

- 静岡理科大学と市内企業の産学交流研究数
（5年間累計）

[現状値] 15件
[目標値] 20件

（参考指標）第2次総合計画

- 若者など市民を対象にした学習機会
（5年間累計）

[現状値] 30回
[目標値] 50回

- 大学生との協働活動の実施件数（5年間累計）

[現状値] 1回
[目標値] 10回

1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

防災・減災対策の充実・強化と地域資源を活用した新しい産業の創出と集積に加え、袋井らしいライフスタイル実現の場の創出をめざし、内陸フロンティアを拓く取組を進化させる。

■袋井らしいライフスタイルの創出

職住の近接に加え、継続的に趣味が実現できる場の創出に向け、公園など公共施設の活用方法の見直し、水と緑溢れる豊かな自然や農業資源の活用を図る。

また、趣味を軸とした新たなコミュニティづくりを積極的に支援し、地域への愛着と人の絆など、定住の促進を図る。

【具体的な施策】

- 特徴ある公園づくり（利用を特化した公園の再整備）
- 趣味やイベントなどを通じた交流の促進
- 小笠山総合運動公園の多面的な利活用の促進
- 農業体験等の充実強化

■創業希望者の支援

地域における創業希望者を支援することで創業を促進し、地域経済の活性化及び雇用の確保を目指す。

【具体的な施策】

- ワンストップ相談窓口の設置
- 創業希望者掘り起こしセミナーの開催
- ふくろい創業塾の開催
- 中心市街地空き店舗対策事業

■魅力的な工業用地の確保

将来にわたる地域雇用の場を確保するため、地域経済を支える優良企業の立地を促す魅力的な工業用地の創出を進める。

【具体的な施策】

- 豊沢工業団地の整備
- 小笠山山麓開発の促進
- 新たな工業用地の開発可能性調査

○利用を特化した公園数
[現状値] 0箇所
[目標値] 3箇所

○公園を利用した展示、販売等のイベント数
[現状値] 1回
[目標値] 6回

○体験ツアー等参加者数
[現状値] —
[目標値] 1万人/年

○農業体験ツアー開催数
[現状値] —
[目標値] 5回

○創業件数
(卸・小売業、サービス業/累計)
[現状値] 20件
[目標値] 120件
(参考指標)第2次総合計画

○新たな工業用地の創出面積（5年間累計）
[現状値] —
[目標値] 14ha
(参考指標)工業振興計画

1-5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

若者が結婚を機に本市に新居を構え、出産子育ての時期を、安心して楽しく過ごすことができるよう家庭、地域、企業、行政がそれぞれの役割を担いながら連携・協力し、妊娠、出産、子育てまでの段階に応じた多様な支援を行う。

■アクティブ育児応援プログラム推進事業

幼児の体力向上のほか、幼少期の多様な動きの習得や親子の触れあいの機会の創出などアクティブな育児環境の実現に向けた社会実装を加速させる。

また、職場優先の企業風土改革などワークライフバランスへの取り組みに加え、世代間の相互扶助の拡充、若者に幼児に触れる機会の創出などによる結婚機運の醸成を図る。

【具体的な施策】

- アクティブ育児応援プログラムの開発
- 子育て世代や企業等への意識・ニーズ調査
- 親子運動教室の開催

■子ども・子育て支援エリアの充実

乳幼児期から青少年期にいたる子どもやその保護者を総合的に支援できる体制を確保するため、施設の再編を行う。

子ども・子育て支援の一体的なエリア「育ちの森」として施設を集約することで連携強化と機能の充実を図る。

【具体的な施策】

- 子ども早期療育支援センター「はぐくみ」の充実
- 療育支援ネットワーク連絡会の開催
- 子ども支援トータルサポート記録管理システムの構築
- 子育て応援日めぐりカレンダー等の作成

■子育て世代包括支援センターの開設

母子保健の総合相談窓口として、「子育て世代包括支援センター」を開設し、妊娠期から子育て期の支援体制を強化する。

【具体的な施策】

- 子育て応援アプリの開発
- 妊娠期から子育て期の総合相談窓口の設置
- 妊娠期から子育て期まで、継続した子育て支援
- 出産後早期の家庭訪問の実施

○運動教室への参加率
(企業等の協力度)
[現状値] —
[目標値] 90%

○子育てが楽しいと感じる人の割合
[現状値] —
[目標値] 80%

○子育てに関する相談
(0～18歳)が切れ目なく受けることができていると思う保護者の率
[現状値] —
[目標値] 90%

○「育ちの森」(相談支援施設)を利用することで子どもへの理解が深まった保護者の率
[現状値] —
[目標値] 80%

○生後2カ月以内の赤ちゃん訪問の実施率
[現状値] 33.2%
[目標値] 50.0%
(参考指標)
健康づくり計画(掲載見込み)

○支援(経過観察を要する)者への相談訪問件数
[現状値] 延べ1,423件
[目標値] 延べ1,565件

1-6 シティプロモーションの充実・強化

“誇りと愛着のもてるまち”を目指し、自らがシティプロモーションの担い手となって袋井の魅力を磨き、育て、発信できる仕組みを設けるとともに、全国・世界を視野に、本市の都市ブランド力を向上させ、移住・交流人口の増加につなげる活動を展開する。

■「魅力ある袋井」を発信できる人材の育成

本市の潜在性（ポテンシャル）を引き出し、自らが語り部となって情報発信できる人材を育成する。

また、多様なまちの魅力を発信し共感し合う市民の輪を広げ、新たな地域文化を創造する。

【具体的な施策】

- 「魅力ある袋井」発信事業（市民ブロガーの育成）
- 市民映画の製作

■全国・世界に向けた情報発信力の強化

人口の首都圏一極集中を打開するため、移住希望者を視野に情報発信する。

また、本市周辺の大学や専門学校などに留学している外国人の協力のもと、本市の存在を世界に向けてアピールし、交流人口の増加を促す。

【具体的な施策】

- 市ホームページのリニューアル（機能強化）
- 首都圏地方移住希望者への情報発信
- 外国人留学生による情報発信

○市民情報交流サイト「いいね」の数

[現状値] —

[目標値] 5,000件

○市民映画観客動員数

[現状値] —

[目標値] 10,000人

○全国地域ブランド調査における魅力度の順位

[現状値] 787位

[目標値] 300位

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

市民の生活に潤いと安らぎを与える「袋井らしさ」を追求し、地域資源とICTの結合などにより、地域経済を支える産業の生産性の向上と活性化に挑む。

戦略の柱・施策の方向

重要業績評価指標 KPI（平成31年度）

2-1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

本市を代表する観光拠点である遠州三山を中心に、情報発信を強化し、国内外からの観光交流客の誘客と滞在時間を増やすプランの創造やおもてなし環境の整備を推進する。

■新しい賑わいの場づくり

「ここならではの」のお土産づくりやメニューの充実、統一感のある門前（雰囲気）づくりのほか、四季折々のイベントを開催するなど、年間を通じた賑わいの場づくりを推進する。

【具体的な施策】

- 門前活性化の推進
- チャレンジショップ等の開設（空き店舗の活用）
- 境内を活用した多様なイベントの創造

■非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造

遠州の古刹めぐり「三日坊さんの旅」を基に、歴史的建造物や仏像などを巡るプランのほか、修行体験や精進料理の作り方教室など、地域資源を活用した非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造により誘客の促進を図る。

【具体的な施策】

- 歴史資源（建造物、仏像など）を巡るプランの創造
- 修行体験（座禅、写経、滝行など）体験型プランの創造
- 精進料理を活かしたプランの創造

■国内外に向けた情報発信の強化

SNSの活用や首都圏・中京圏の旅行会社等の招聘など、本市を知り、実際に訪れてもらうまでの戦略的なアプローチを視野に入れた情報発信を行う。

主要観光施設へのWi-Fi環境の整備のほか、パンフレットや案内看板、ホームページ等の外国語対応を充実させ、インバウンド観光の受入体制の強化を図る。

【具体的な施策】

- 情報発信ツールの充実
- ファムトリップ（旅行会社等）の実施
- Wi-Fi環境の整備
- 外国語での情報提供の充実

○観光交流客数

[現状値] 423万人/年

[目標値] 468万人/年

（参考指標）第2次総合計画

○主要観光拠点のWi-Fi設置数

[現状値] 2件

[目標値] 10件

（参考指標）

観光基本計画(掲載見込み)

2-2 農業の未来を創るプロジェクト

基盤整備や作業の効率化による生産性の向上のほか、「強み」のある産地形成に向けた作付け転換、異業種連携や農業法人を含む担い手の育成など、新しい農業を拓く取組を推進する。

■畑地管理の適正化と農地の有効利用

茶畑の作業効率と生産性の向上に向けた基盤整備と集積を図るとともに、茶の転換作物などの研究を推進し、「強み」のある産地形成を図り、農業者所得の向上と耕作放棄地の解消を目指す。

【具体的な施策】

- 畑の基盤整備と茶園の集積促進
- 茶の転換作物の研究

■水田のフル活用と地域に親しまれる米づくり

人・農地プランや農地中間管理機構を活用し、意欲のある担い手への農地集積と水田の高機能化により、生産性の向上と高度利用を図る。

また、「(仮称)水田市民農園」を開設し、市民生活に潤いとやすらぎを与えると同時に、米の地産地消の推進を図る。

【具体的な施策】

- 意欲のある担い手への水田集積（人・農地プランほか）
- 水田の基盤整備（高機能化）
- (仮称)水田市民農園の開設

■クラウンメロンの更なる飛躍

熟練生産者の生産技術を検証し、ICT等を活用した業務の標準化（マニュアル化）をすることで、技術の継承と新規就農を促すと同時に、安定した高品質メロンの生産と出荷増を図る。（規格外品の減少 → 農業者所得の向上）

【具体的な施策】

- 異業種連携事業の推進
- 生産現場へのICT技術の導入

○耕作放棄地解消面積

[現状値] 10.7ha/年

[目標値] 11.0ha/年

（5年間累計 55.0ha）

（参考指標）

農業振興ビジョン（掲載見込み）

○農業法人数

[現状値] 34社

[目標値] 39社

（参考指標）第2次総合計画

○利用権設定面積

[現状値] 960ha

[目標値] 1,075ha

（参考指標）第2次総合計画

2-3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

トレーサビリティをはじめとした安全、安心な体制の確立と産地表示などと併せた知名度の向上などの取組により、国内外のさらなる販路拡大を図る。

積極的な販売促進活動を通じた消費者ニーズの獲得により、クラウンメロン等のブランド力のさらなる強化を図る。

■農産物の外的評価の推進

品質や安全性などの農産物の付加価値を高めるため、産地表示、機能性表示、GAP認証などの外的評価制度を活用し、消費者や取扱業者から選ばれる商品づくりを推進する。

【具体的な施策】

- 地理的表示保護制度による登録
- 機能性表示食品制度の許可取得
- GAPの認証取得

■農産物の海外輸出の拡大

ロシアや東南アジアなど、新たな市場の開拓に向けた販売促進活動を展開するほか、EU諸国や米国等への輸出を含め、競争力のある商品づくりと確かな商流の確保に努める。

【具体的な施策】

- 特産品の海外輸出プロジェクト
 - ・お茶 [対象国] ロシアほか欧米諸国
 - ・メロン [対象国] 東南アジアほか

■クラウンメロンのブランド力の強化

消費者ニーズの更なる獲得に向け、加工品の開発やターゲットを絞った販促活動の実施し、ブランド力の強化と魅力ある商品づくりを促進する。全国のメロン産地のネットワーク化により、果実界におけるメロンの地位復活を目指す。

【具体的な施策】

- 加工品の開発と販路拡大
- ターゲットを絞った販売戦略
- 食べ頃判定の確立
- メロン産地のネットワーク化(全国メロンサミットほか)

○お茶の海外輸出量

[現状値] 10t/年

[目標値] 15t/年

○メロン加工品取扱企業
の数

[現状値] 31社

[目標値] 35社

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

いつまでも光り輝き社会を支える人（アクティブ・シニア）づくりと、将来にわたって、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築とあわせ、医療費の適正化に挑む。

戦略の柱・施策の方向	重要業績評価指標 KPI（平成31年度）
<p>3-1 プラチナ社会の実現への取組</p> <p>労働力人口の減少、高齢者人口の増大などへの対応と地域課題への解決に資する新たな働き方（生きがい就労）を創出し、市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちの実現を目指す。</p> <p>■3Days worker's office 構想の推進</p> <p>高齢者をはじめ、子育てや闘病などを起因に、フルタイムでの就労が困難な方などを対象に、「生きがい就労」という新しい働き方を創出し、需要供給の総合調整のほか、ジョブトレーニング等を支援する仕組みを構築する。</p> <p>[注] 3Days worker's office 構想とは… 「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組み</p> <p>【具体的な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな機構の設置に向けた調査・研究 ○新たな機構の設置に向けた法的制約等の課題抽出 ニーズ・地域課題の把握 ○3Days worker's office 推進協議会（仮称）の設置 <p>■小さな拠点づくり推進事業</p> <p>誰もがアクセスしやすい場所に医療施設や金融機関、公共サービス施設を集約させることで、車に頼らず、“年をとっても暮らしやすいまち”の創出を目指す。</p> <p>【具体的な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立地適正化計画によるコンパクトシティの推進 	<p>○健康寿命の延伸 （お達者度）</p> <p>[現状値] 男 17.51年 （県内15位） 女 20.87年 （県内20位）</p> <p>[目標値] 男 17.69年 （県内10位以内） 女 21.17年 （県内10位以内） （参考指標）第2次総合計画</p> <p>○子育て世代の社会移動</p> <p>[現状値] ▲60世帯 [目標値] 均衡（±0世帯）</p>
<p>3-2 セルフメディケーションの推進</p> <p>「2025年問題」への対応と医療費の抑制に向け、病院や診療所など、限りある地域の医療資源を持続的かつ効果的に利用するために、診療情報の共有化と自己の健康状態を常に把握できる社会基盤を整備する。</p> <p>[注]セルフメディケーションとは… 世界保健機関(WHO)定義 自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること</p> <p>■「地域共通診察券」の導入プロジェクト</p> <p>診療情報の共有化と自己の健康状態を常に把握できる新たな社会基盤として「地域共通診察券」の導入を目指す。</p> <p>診療情報の集約と各医療機関の共有化により、診療の効率化や重複診療の防止、救急搬送時などにおける病歴の迅速な</p>	<p>○参加医療機関数</p> <p>[現状値] — [目標値] 39機関</p>

把握のほか、保健・予防事業と連動させることで、自身の健康管理や健康寿命の延伸につなげることも期待される。

【具体的な施策】

- 健康実態の分析調査（ビックデータの統計・分析処理）
- 地域共通診察券の導入

3-3 歩いて楽しいまちづくり

市の中心核であるJR袋井駅周辺区域と約2.5km北に位置する健康・福祉・スポーツ機能集積エリアまでの区域内を“歩いて楽しい”健康的なまちづくりの先導区域として空間整備する。

■歩いてみたくなる空間の整備

高齢化の進行に伴う医療費等への財政負担を軽減するため、従来から本市で取り組んでいる“歩く”の視点に立って、歩行者主役の心地よい空間を整備する。

【具体的な施策】

- 袋井駅周辺道路の整備（（仮称）田端自歩道ほか）
- 高質空間形成施設整備事業（照明・緑化施設など）
- まちなかにぎわいイベント開催
（袋井宿開設四〇〇年記念事業など）

■ウォーキングや健康増進のための活動拠点の整備

ウォーキングや健康増進などに取り組む人達が、集い、交流することができる空間を整備する。

【具体的な施策】

- 田端東遊水池の整備
- 総合体育館及び周辺道路の整備

○JR袋井駅周辺区域における歩行者の数

[現状値] 800人/日

[目標値] 1,000人/日

（参考指標）

社会資本整備事業「整備計画書」

3-4 自転車を活かしたまちづくり

平坦地が多いことや温暖な気候など、自転車利用に適した環境を活かし、自転車利用の推進によって、市民の健康を維持・増進するとともに、医療・介護費等の削減につなげ、「日本一健康文化都市」の実現を目指す。

■自転車を活用した新しいライフスタイルの提案

市民の身近な移動手段である「自転車」を日常生活に取り入れ、新たなライフスタイルの実現に向けて「自転車」の持つメリットである「健康」、「経済」、「環境」、「時間」の4つの分野に分け、各種事業を実施していく。

【具体的な施策】

- 自転車貸出、購入補助、自転車通勤の促進
- 自転車ネットワークの整備・構築
（危険箇所の改良や通行帯の整備）
- 駐輪場整備、公共施設等への整備資材の配備

○1週間に1回以上自転車を利用する人の割合

[現状値] 20.3%

[目標値] 25.0%

（参考指標）

[市]自転車を活かしたまちづくり指針

第 3 章 戦略を支える取組

第3章 戦略を支える取組

国の政策分野と基本目標	対応する主な施策群	第2次総合計画																
<p>国の政策分野① 地方における安定した雇用を創出する</p> <p>活力みなぎる産業のあるまちづくり</p> <p>(数値目標:平成31年度) 満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合</p> <table border="0"> <tr> <td>[現状値]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[目標値]</td> <td>50%</td> </tr> </table> <p>製造品出荷額等</p> <table border="0"> <tr> <td>[現状値]</td> <td>4,957億円/年</td> </tr> <tr> <td>[目標値]</td> <td>5,420億円/年</td> </tr> </table> <p>(参考指標)第2次総合計画</p> <p>観光交流客数</p> <table border="0"> <tr> <td>[現状値]</td> <td>423万人/年</td> </tr> <tr> <td>[目標値]</td> <td>468万人/年</td> </tr> </table> <p>(参考指標)第2次総合計画</p> <p>主要農産物産出額</p> <table border="0"> <tr> <td>[現状値]</td> <td>77.6億円/年</td> </tr> <tr> <td>[目標値]</td> <td>75.7億円/年</td> </tr> </table> <p>(参考指標)第2次総合計画</p>	[現状値]	—	[目標値]	50%	[現状値]	4,957億円/年	[目標値]	5,420億円/年	[現状値]	423万人/年	[目標値]	468万人/年	[現状値]	77.6億円/年	[目標値]	75.7億円/年	<p>○産業の新たな展開の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな展開への支援 ・活力ある工業の振興 ・企業誘致の推進 ・人材育成と経営力向上の支援 <p>○戦略的な観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋井ブランドの創出 ・マーケティングの推進 ・担い手の充実と育成 ・おもてなしの充実 ・戦略的な商品販売の支援 <p>○経営力の高い農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代の担い手育成の推進 ・農地の適正利用と基盤整備 ・農産物の高付加価値化と販路拡大 ・安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進 ・農地の多面的機能の維持 ・農資源のさらなる有効活用 <p>○魅力的な商業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者等の経営体質の強化 ・魅力ある個店づくりの推進 ・商店街活性化に向けた取組の推進 ・消費者トラブルの解決と防止のための啓発推進 <p>○雇用環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の安定と促進 ・就労支援の推進 ・勤労者福祉の充実 	<p>政策 4</p>
[現状値]	—																	
[目標値]	50%																	
[現状値]	4,957億円/年																	
[目標値]	5,420億円/年																	
[現状値]	423万人/年																	
[目標値]	468万人/年																	
[現状値]	77.6億円/年																	
[目標値]	75.7億円/年																	
<p>国の政策分野② 地方に新しい人の流れをつくる</p> <p>快速で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり</p>	<p>○暮らしたくなる都市拠点の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトに生活機能が集約した都市拠点の形成 ・安全で魅力ある市街地の形成及び再生 ・地域資源の保全と良質な景観形成の推進 ・総合的な住宅施策の推進 ・まちづくりへの市民参加の推進 <p>○誰もが移動しやすいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい公共交通網の構築 ・安全で円滑な道路整備の推進 ・協働によるみちづくりの推進 ・道路の老朽化対策の実施 	<p>政策 3</p>																

<p>(数値目標:平成 31 年度) 袋井市が住みよいと思っている人の割合</p> <p>[現状値] 73.3% [目標値] 80.0%</p> <p>地区計画などの実施面積</p> <p>[現状値] 299ha [目標値] 360ha (参考指標)第2次総合計画</p> <p>一人1日あたりの可燃ごみの排出量</p> <p>[現状値] 518g/日 [目標値] 512g/日 (参考指標)第2次総合計画</p> <p>公共施設のWi-Fiスポット設置割合</p> <p>[現状値] 42.5% [目標値] 87.5% (参考指標)第2次総合計画</p>	<p>○花と緑と水のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な公園・広場の創出 ・花を通じた市民の健康づくり・交流の促進 ・歩いてみたくなる水辺空間の創出 ・公共緑地の適切な管理と宅地内緑化の推進 <p>○恵みある河川・海岸づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した河川・排水路の整備推進 ・河川愛護の推進 ・美しい海岸の創出 ・海岸浸食対策の推進 ・防潮堤整備と利活用の推進 <p>○豊かな環境の醸成と継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源循環型社会の推進 ・環境保全意識の高揚 ・地球環境の保全 ・郷土の豊かな水辺環境の保全 ・生活環境の保全・改善 ・快適な環境の創造 <p>○生活を快適にするICT環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活かした先進性の高いまちづくりの推進 ・新たな価値の創出と地域活性化につながるICTの活用 ・ICTを活用できる人材の育成 ・ICTインフラの整備 	<p style="text-align: center;">政策 3</p>
<p>住宅の耐震化率</p> <p>[現状値] 91.3% [目標値] 94.4% (参考指標)第2次総合計画</p> <p>浸水被害想定家屋数</p> <p>[現状値] 295戸 [目標値] 261戸 (参考指標)第2次総合計画</p> <p>人身事故件数</p> <p>[現状値] 775件/年 [目標値] 740件/年 (参考指標)第2次総合計画</p>	<p>○地震災害に強いまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般住宅の地震対策 ・地域防災力の強化 ・津波被害軽減の推進 ・原子力災害への対策 ・防災拠点施設の強化 ・医療救護体制の強化 <p>○治水・治山対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な治水対策の推進 ・土砂災害への対応 ・急傾斜地崩壊対策事業の促進 <p>○交通安全・防犯対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを交通事故から守る取組の推進 ・高齢者の事故防止の推進 ・交通安全対策の推進と自転車等の運転マナーの向上 ・地域における防犯活動の支援 ・空き家・空き地対策の推進 	<p style="text-align: center;">政策 5</p>

	<p>○消防・救急救体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防力の強化 ・火災予防の推進 ・救急救命体制の強化 ・消防団活動の支援 <p>○安全な水の安定供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道水の安定供給の確保 ・水道事業の健全経営の確保 	<p>政策 5</p>																
<p>国の政策分野③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>子どもがすこやかに育つまちづくり</p> <p>(数値目標:平成 31 年度) 「自分が住んでいるまちが子どもを産み、育てやすいところ」と感じている人の割合</p> <table border="0"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[現状値]</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[目標値]</td> <td style="text-align: center;">80%</td> </tr> </table> <p>合計特殊出生率</p> <table border="0"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[現状値]</td> <td style="text-align: center;">1.72</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[目標値]</td> <td style="text-align: center;">1.81</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">(参考指標)第2次総合計画</p> <p>保育所待機児童数</p> <table border="0"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[現状値]</td> <td style="text-align: center;">30 人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[目標値]</td> <td style="text-align: center;">0 人</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">(参考指標)第2次総合計画</p> <p>全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6・中3)</p> <table border="0"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[現状値]</td> <td style="text-align: center;">50.0%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">[目標値]</td> <td style="text-align: center;">87.5%</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">(参考指標)第2次総合計画</p>	[現状値]	—	[目標値]	80%	[現状値]	1.72	[目標値]	1.81	[現状値]	30 人	[目標値]	0 人	[現状値]	50.0%	[目標値]	87.5%	<p>○市民総参加で子育て環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを産み育てる環境の整備推進 ・子どもにとって良質な教育・保育の提供 ・すべての子どもの育ちを支える環境の整備 ・子育てと仕事の両立の支援 ・子育て世帯の不安の解消 ・子どもの安全の確保 <p>○未来に輝く若者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆたかな心を育む教育の推進 ・確かな学力を育む教育の推進 ・健やかでたくましい体を育む教育の推進 ・子ども一人ひとりを大切にした支援の充実 ・地域とともにある学校づくりの推進 ・質の高い教育環境の整備 <p>○教養のゆたかな人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳育の推進 ・生涯学習活動の充実 ・社会全体が連携した青少年健全育成の推進 ・図書館機能の充実と読書活動の推進 	<p>政策 1</p>
[現状値]	—																	
[目標値]	80%																	
[現状値]	1.72																	
[目標値]	1.81																	
[現状値]	30 人																	
[目標値]	0 人																	
[現状値]	50.0%																	
[目標値]	87.5%																	
<p>国の政策分野④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</p> <p>市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり</p>	<p>○生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における健康づくりの推進 ・各年代における健康づくりの推進 ・生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・栄養・運動など生活習慣の改善 ・心の健康づくりの推進 	<p>政策 2</p>																

<p>(数値目標:平成 31 年度)</p> <p>「地域の絆や支え合いの仕組みが形成されている」と感じている人の割合</p> <p style="padding-left: 40px;">[現状値] —</p> <p style="padding-left: 40px;">[目標値] 80%</p> <p>お達者度(男性/女性)</p> <p style="padding-left: 40px;">[現状値](17.51 年/20.87 年)</p> <p style="padding-left: 40px;">[目標値](17.69 年/21.17 年)</p> <p style="padding-left: 80px;">(参考指標)第2次総合計画</p> <p>市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合</p> <p style="padding-left: 40px;">[現状値] 9.2%</p> <p style="padding-left: 40px;">[目標値] 7.8%</p> <p style="padding-left: 80px;">(参考指標)第2次総合計画</p> <p>総合健康センターでの総合相談件数</p> <p style="padding-left: 40px;">[現状値] 2,500 件</p> <p style="padding-left: 40px;">[目標値] 2,900 件</p> <p style="padding-left: 80px;">(参考指標)第2次総合計画</p>	<p>○いきいきと暮らせる健康長寿の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と生きがいがづくりの推進 ・域包括ケアの充実 ・住みやすいまちづくりの推進 ・支え合う仕組みの構築 ・介護保健事業の円滑な実施 <p>○安心できる地域医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切れ目のない地域医療体制の確保 ・救急医療体制の確保 ・医療と介護の連携強化 <p>○自分らしく暮らせる障がい者支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した生活の支援 ・社会福祉施設の整備支援 ・障がい者への理解と地域の交流の支援 <p>○親しみやすい市民スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものスポーツ機会の充実と体力向上 ・ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ・誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備 ・アスリートを育てる競技スポーツの推進 	<p>政策 2</p>
<p>自治会加入率</p> <p style="padding-left: 40px;">[現状値] 87.5%</p> <p style="padding-left: 40px;">[目標値] 89.5%</p> <p style="padding-left: 80px;">(参考指標)第2次総合計画</p> <p>協働まちづくりセンター登録団体数</p> <p style="padding-left: 40px;">[現状値] 46 団体</p> <p style="padding-left: 40px;">[目標値] 66 団体</p> <p style="padding-left: 80px;">(参考指標)第2次総合計画</p> <p>「男女共同参画社会づくり宣言」 宣言事業所の数</p> <p style="padding-left: 40px;">[現状値] 30 事業所</p> <p style="padding-left: 40px;">[目標値] 47 事業所</p> <p style="padding-left: 80px;">(参考指標)第2次総合計画</p>	<p>○市民と行政の協働によるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会(連合会)活動の維持・促進 ・市民活動の促進 ・交流・連携の機会の創出 ・パートナーシップによるまちづくり ・地域コミュニティの充実・支援 ・活動拠点の整備・支援 <p>○多様な文化の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術の推進 ・郷土の歴史や文化財の保護・顕彰 ・多文化共生の推進 ・国際化に向けた人材育成と環境の整備 <p>○共生社会の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の実現 ・女性の活躍の推進 ・生活困窮家庭の生活支援 ・虐待の予防及び早期対応 ・人権意識の向上と人権擁護 	<p>政策 6</p>